

# 第1回 地域活動報告会 開催概要



## 開催の目的

本学は、文部科学省地(知)の拠点事業の採択を受け、宗谷地域、とりわけ稚内市及び利尻町との連携を深め、地域の教育力向上とまちづくりで協働する地の拠点を目指している。

地域活動報告会は、当該事業の推進を図るため本学が定期的実施するもので、第1回である今回は、本学におけるこれまでの地域活動の成果を報告し、全学的な共通理解を図ることを目的として開催した。

## 開催の要項

- <日時> 平成26(2014)年9月16日(火)  
午後14時30分 ~ 午後16時00分
- <場所> 稚内北星学園大学 1401号教室
- <参加人数> 57名
- <プログラム>

第1回地域活動報告会にあたり、佐々木政憲本学学長よりご挨拶ののち、以下の5報告並びに総合討議を行った。

- 報告1 COC事業の概要 ~本学が目指す地(知)の拠点~  
稚内北星学園大学情報メディア学部長 齊藤 吉広
- 報告2 「ぐんぐん塾」で学んでいること  
稚内北星学園大学情報メディア学部3年 阿部 浩幸
- 報告3 「ぐんぐん塾」との出会いから  
稚内北星学園大学情報メディア学部3年 橋本 薫
- 報告4 「ぐんぐん塾」の体験を生かして  
稚内北星学園大学情報メディア学部4年 湯井 達海
- 報告5 利尻の子供と先生に学ぶ  
稚内北星学園大学情報メディア学部3年 木村 英之
- 総合討議(質疑・応答)

## 報告の要旨

齊藤学部長は、COC事業の概要、及び本学が目指す地(知)の拠点の将来像を、これまでの本学の地域活動の実績を紹介しながら説明し、合わせて今後の活動予定を説明した。

阿部さんは、担当校の子どもたちが積極的に学習に取り組んでいる姿を具体的に紹介したうえで、そうした子どもたちの姿勢から、自身の大学での学びへの刺激を受けていることを報告した。

橋本さんは、ぐんぐん塾の指導を担当する指導員(元教員)とのやりとりを紹介し、そこから教員としての力量を見につけるためのヒントや、子どもの捉える視点について学んだことを報告した。

湯井さんの報告は、ぐんぐん塾で一人一人の子どもの気持ちを汲み取り対応していく体験を、将来希望している社会教育主事の仕事と関連して、町づくりや地域振興の場で役立たせたいというものだった。

木村さんの報告は、利尻町の夏休み小中合同学習会での学びや発見とともに、ゼミ活動(教育活動)としての重要性にも触れていた。その上で、この学習会を稚内全体の取組として発展させられないか、という考えを発表した。

## 総合討議の要旨

総合討議に先立って、学生の取り組みに関して2名の担当教員より講評があった。坪内本学教授からは、学生が地域に貢献しながら自らの学びをしていることに大きな意味があること、米津本学講師からは、学生が実践的に学ぶことで教員としての力量を着実に高めていることが語られた。

フロアからは、学生が地域に出て活動することで、地域の中に若者がいて頑張っていることが見える、その姿に励まされる、という意見が出された。

## 総括

本報告会は、稚内北星学園大学COC事業の概要や本学におけるこれまでの地域活動の成果を関係者が一堂に会して共有する機会となった。総合討議では、今後の展望についても議論がおよぶなど、本学におけるこれからの地域活動について、その広がりが大いに期待できる結果を得た。